

総務委員会会議録（要点筆記）

令和7年12月17日（水）
午後2時30分 開議

○委員長（中村和也）

ただいまから総務委員会を開きます。議事を行います。
議案第104号を議題とします。当局の補足説明を求めます。

○企画課長（内田敦士）

補足説明はありません。

○委員長（中村和也）

補足説明は終わりました。ただいまから質疑を行います。ご質疑ありませんか。

○坂井美穂委員

今回、幼稚園に関する業務を教育委員会から子ども未来部に所管替えしますが、法的に問題はありますか。

○企画部長（大木康敬）

教育委員会が行う業務は法律で定められていますが、市長部局が一部を執行できる規定があるため、問題ありません。各種法令に基づき、適正に業務を行います。

○坂井美穂委員

幼稚園と保育園や認定こども園では、国の所管が異なってくるにも関わらず、市として同じ所管で業務を行うこととした理由は何ですか。

○企画部長（大木康敬）

国の所管は、幼稚園については文部科学省になりますが、市として保育園と所管を同じにすることが、就学前の居場所、預かりという意味ではより良いという判断をしました。

○有留麻由委員

環境課が水道部へ所管替えとなりますが、墓地整備担当が環境担当に統合された理由は何ですか。

○企画課長（内田敦士）

墓地整備担当は、持続可能な墓地運営を推進するために設置しましたが、墓地管理料の導入など必要な対応が概ね完了したと判断しました。今後は、環境担当と統合することで、業務の効率化を図っていきたいと考えたものです。

○委員長（中村和也）

ほかにご質疑ありませんか。

ないようですので、これで質疑を終わります。お諮りします。ただ今から討論を省略して、採決に入ります。これにご異議ありませんか。

【「異議なし」との声あり】

ご異議なしと認めます。ただ今から採決を行います。

本案は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

【「異議なし」との声あり】

ご異議なしと認めます。

よって、議案第104号は、原案のとおり可決しました。

以上で、当委員会に付託されました議案は、審査を終了しました。なお、委員長報告は、正副委員長にご一任いただきたいと思いますと考えますが、よろしいでしょうか。

【「異議なし」との声あり】

ほかに何かありましたらお願いします。ないようですので、これで総務委員会を終わります。

午後2時38分 散会